

大好きなペットと安心して 暮らす大切なこと♪

～人と動物に共通した病気～

監修 千葉県医師会理事 西牟田 敏之 医師



みなさんは、ネコ派？ 犬派？ 鳥派？ 「〇〇派」という言葉があるくらいにペットブーム！ ペットと一緒に暮らしている人や暮らしたいと思っている人は多いと思います。

動物を家族の一員として迎え、仲良く暮らすには、お互いのことをよく知っておくことが大切です。

今号では、仲良く暮らすために大切なことを学びましょう！



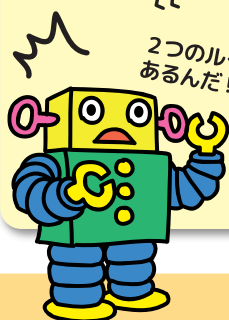
人から動物・動物から人にうつってしまう病気があることを知っていますか？
少しむずかしい言葉になりますが、
「人と動物の共通感染症」といいます。



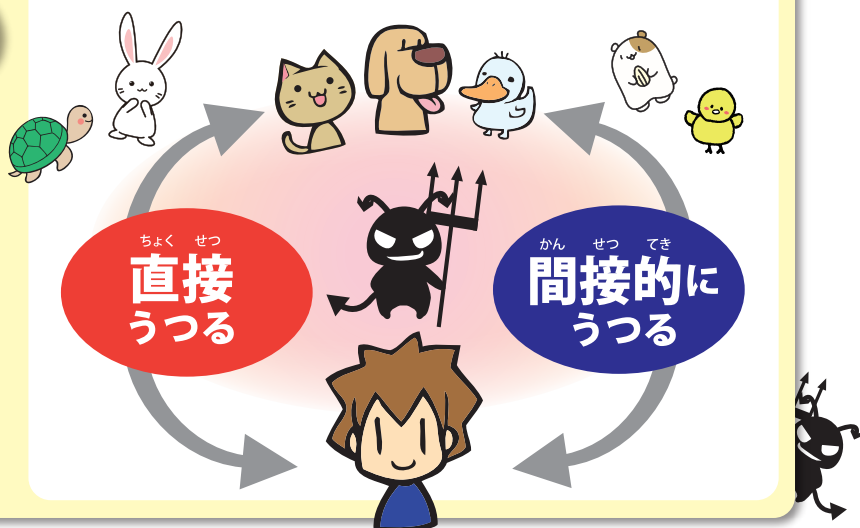
ペットと一緒にずっと仲良く暮らすために知っておくピッ！



2つのルートがあるんだ！



感染のしかたは大きく分けて2つあります。



病原体はどうやってうつるの？

病原体とは？…病気の原因となる生物のこと。

直接うつる

動物から人へ直接うつる場合

★咬み傷やひっかき傷から、病原体が入ることがあります。

※病気（感染症）で弱っているネコ、犬からうつらないように気をつけましょう。



遊んでいる
最中にうっかり
ひっかかれたり
歯があたったり
することが
あるピッ



間接的にうつる

ダニや蚊を通じてうつる場合

★草むらや土にいて病原体を持つダニが、ペットや人を刺して病気をうつしたり、病原体を持っている動物や人を刺した蚊が、他の人を刺してうつしたりします。

水の感染ルートは…



環境によってうつる場合

★病原体などで汚れた水や土に触れたり、飲んだりしてうつります。また、病気（感染症）にかかっている動物の排せつ物が風で舞い上がって、その空気を吸い込んでうつったりします。



食品からうつる場合

★狂牛病、E型肝炎、サルモネラ症など



人から動物にもうつる病気の場合

★結核、インフルエンザなど
※インフルエンザは日本での事例は、あまりありません。



それぞれ、こんな病気が考えられます！

直接…狂牛病、パストレラ症、オウム病、猫ひっかき病など

間接…重症熱性血小板減少症候群*、日本脳炎、ライム病、ジカウイルス感染症、デング熱など

*マダニによる感染症「重症熱性血小板減少症候群」は、病気の犬から人への感染が日本で初めて確認されました。



狂犬病で注意が必要なのは、「犬」だけじゃないピッ。ネコや野生のキツネ、アライグマなどにも注意が必要で、海外に行く人は特に注意するピッ！



⚠ ペットと暮らすために大切なこと



① ペットとキスをしない

② 食べ物を口移しで
与えない

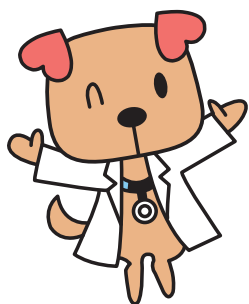
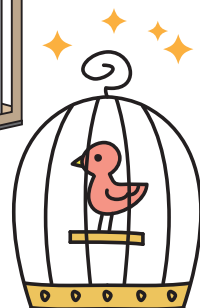
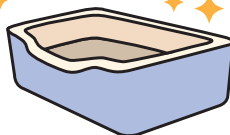
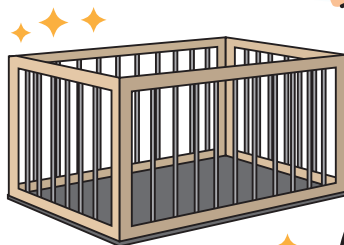
③ 一緒に寝ない

④ ペットの爪を切ろう

⑤ ふれあった後は
手洗いをしよう

⑥ 動物の身の回りは
キレイにしよう

⑦ 室内で鳥をかうときは
換気しよう



みなさん、人とペットがずっと仲良く暮らすためには、「気をつけなければならないルール」があることを学びましたね。

大切な家族の一員! 「かわいいペット」との暮らしを楽しむために、ぜひ、きちんと守っていきましょう!

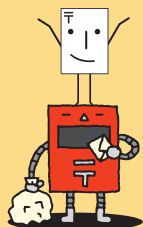
いつも
清けつに
するピッ



たよ ぼ しゅう お便り募集

このコーナーで取り上げてほしいこと、病気や身体のこと
で聞いてみたいことがあったらお手紙をください。封書
かハガキでお寄せください。詳細は、医師会インフォメー
ションをご覧ください。

※個人情報保護のためお送りいただいたハガキなどは、(公社)千葉県
医師会が保管をし、連絡の目的以外に使用することはありません。



保護者のみなさまへ



ペットと暮らす上で、他にも「野生動物を家で飼わない」「犬の予防注射・登録などは必ず行う」「ペットの体調の変化に注意する」など、長く家族でいられるように管理をお願いいたします。